



ひまわり



桶川市青少年健全育成市民会議

第 42 号

平成31年1月1日 (年1回発行)

発行 桶川市青少年健全育成市民会議

編集 桶川市青少年健全育成市民会議

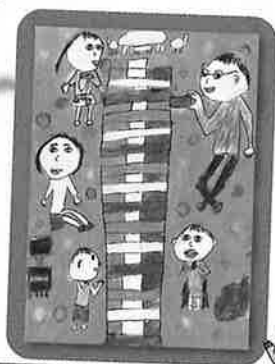
広報発行委員会

事務局 桶川市教育委員会生涯学習文化財課

☎786-3211

✉shogai@city.okegawa.lg.jp

平成30年度「家庭の日」ポスターコンクールで優秀賞を受賞された皆さんの作品です。おめでとうございます。(敬称略)
入賞作品は1月4日から31日まで市役所1階市民ギャラリーに展示します。



桶川東小学校 2年 小島 柚
「家族でジェンガ、ドッキドキ」



日出谷小学校 2年 板橋 実々
「かぞくがあつまる夏休み」



加納小学校 3年 金井 莉瑚
「楽しく歌おう 家庭の日」



日出谷小学校 6年 矢澤 史哉
「みんなでアイス」



桶川西小学校 6年 齋藤 匠
「楽しいドライブ」



桶川西小学校 4年 馬場 将太郎
「クワガタ、カブトムシ、たくさんいるぞ!」



桶川中学校 1年 北村 千晶
「みんなで楽しく流しそうめん」



桶川中学校 2年 山崎 成海
「心ひとつに」



桶川中学校 3年 岡村 有香
「笑顔あふれる家庭の日」

市民大会にて講演会が行われました



「子どもを非行や犯罪から守る 親と地域のチカラ」

特定非営利活動法人 日本ガーディアン・エンジェルズ

理事長 小田 啓二氏

ガーディアン・エンジェルズは、町の清掃ボランティアとして、ニューヨークで、1979年に始動した。小田さんはアメリカでこの活動に参加し、日本に帰国後、全国の繁華街でパトロールを行い、あいさつ・声かけなどで若者の非行防止に努めている。

ガーディアン・エンジェルズのみなさんは、青少年には無限の可能性がある、と信じて活動している。どんなに背伸びをした格好していても、年相応の子ども達・人は変わる機会を与えられる権利がある、と講師の小田さんは言う。

当時のアメリカの若者たちは、家庭崩壊、失踪、ドラッグ・ギャンクへの勧誘などで、未来に希望が持てなかった。しかしながら、ガーディアン・エンジェルズの活動は、そんな若者たちの

- 1 居場所になった：（安全な場所、食事や寝床の提供）
- 2 非行を予防した：（規範やルール順守の教育）
- 3 やりがいを作った：（防犯パトロールやコミュニケーションを通して頼られる存在となること、自尊心の向上につながる）

コミュニケーションの秘訣

見守りパトロールでは、まず、あいさつをするよう心がける。注意ではなくあいさつを。なぜなら、あいさつをされて嫌な気持ちになる人はいないから。

そして、声かけのポイントは、大きな耳で（耳を傾ける）、優しい目で（真剣に聴く）、小さな口で（ガミガミ言わない）。若者の話を聴き、受け止めてあげる。若者が探しているのは、信頼できる人、認めてくれる人、そして安全な場所なのだ。例えば最初は返事がなくても、繰り返しうちに顔見知りになり、やがては信頼関係を築くことができる。笑顔であいさつをしよう。笑顔は状況をよくさせ、安心感を与える。

ある自治会で、近所で会った人にあいさつすることを心がけたところ、犯罪が減ったという事例も紹介された。

最近の子どもの傾向

群れない（単独行動）。無料WiFiがある所や携帯を充電できる所に集まる。そんな現代の若者だが、何かに打ち込むものを見つけると人は変わる。例えば、ごく普通の目立ちたがり屋の少年。強い「カッコイイ」という勘違いをしているのだが、やがて本当のカッコよさに気づく：これは様々な経験を通じて本人が気づくしかない。それには、少年が受け取りやすい言葉を、周りの大人がかけてあげることだ。そうして彼らが社会で暮らす喜びを見つけれ。

今日ここで、相手を尊重し、相手の立場に立ったコミュニケーションの取り方を学んだことは、私たちにとても若者を理解する上でとても良い機会となった。

（西永）

第31回
桶川市青少年健全育成市民大会



11月18日(日)、桶川東公民館ホールにおいて、第31回桶川市青少年健全育成市民大会が開催され、開会行事に続き、講演会及び表彰式を実施しました。

講演会では特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルズ理事長の小田啓二さんによる講演「子どもを非行や犯罪から守る親と地域のチカラ」が行われました。その後、「青少年育成成功労賞」の表彰が行われ、さらに市内小・中学校が取り組んだ「私たちの主張」作文コンクール及び「家庭の日」ポスターコンクールの表彰と、作文コンクール優秀作品の朗読が行われました。

（小高）

桶川市青少年健全育成市民会議年間事業



非行防止街頭 キャンペーン

7月4日(水)、午後6時から桶川駅周辺において、非行防止街頭キャンペーンが行われました。

強風の中、たくさんの構成団体と上尾警察署の協力で一フレットの配布と共に非行防止を呼びかけました。(金子)

市民まつり非行防止 キャンペーン

11月3日(土)、快晴に恵まれた秋空のもと、市民まつりが開催されました。当市民会議構成団体及び関係者の方々により、桶川小学校・中山道において風船やリーフレットを配布し、青少年非行防止の大切さを訴えました。(廿浦)

おけがわ春のふれあいフェスタ

今にも空が泣き出しそうな曇天のもと、5月13日(日)、2018おけがわ春のふれあいフェスタが、「災害復興支援がんばろう日本！」をスローガンに開催されました。

今年度も、出店している69団体に、義援金の募金箱を設置し、多くの参加者にご協力いただきました。

市民ホールでは、チアダンスチームの素晴らしい演技、桶川西中学校と桶川高等学校の吹奏楽部及び桶川市民吹奏楽団が素晴らしい演奏を行いました。会場は熱気に包まれていました。

なお降雨の予報をもとに、14時にフェスタを終了しました。(澁谷)



桶川市青少年健全育成市民会議総会

5月27日(日)、桶川東公民館において、平成30年度桶川市青少年健全育成市民会議総会が開催されました。

総会行事に先立ち、「子どもたちに自分らしく生きていく力を『車いすから見える世界をとおして』と題して、埼玉県家庭教育アドバイザーの又野亜希子さんに講演していただきました。

講演の中では、交通事故で胸から下に麻痺が残る大怪我を負い、生きる希望をも失った中、新しい命を授かり無事出産したことで、車いすでの子育てを通して日々実感している「生きる喜び」「命の尊さ」についてお話をしてくださいました。

また、特別表彰として、当市民会議

事業である「あそびっ子」を15年間続けてこられた、吉田智子さんと神崎純子さんに、育成功労賞を授与しました。(小高)



巡回指導員・街の応援団

市内小・中学校PTAで構成されている巡回指導員は、月2回、街頭や娯楽施設を中心に、パトロールを行っています。今年度からは、埼玉県事業の「街の応援団」にも参加しています。

6月1日(金)、東公民館にて、巡回指導員の委嘱式と研修会を行いました。研修会では、講師に特定非営利活動法人 日本ガーディアン・エンジェルズの理事長 小田啓二さんを招き、「少年たちの心をつかむ声か

けのポイント」をテーマに、子どもへの声かけ方法やポイントなどを教えていただきました。

その他にも、年2回の非行防止キャンペーンや、7月15日(日)・16日(月)の祇園祭で夏祭り巡回指導員を行い、

青少年の健全育成のために活動してまいります。(澁谷)



巡回指導員研修会の様子

コンクールの入賞者が表彰されました

青少年育成功労賞表彰



市民大会で行われた表彰式では、青少年の育成に顕著な功績のあった12名・2団体に「青少年育成功労賞」が授与されました。

また、市内小・中学校の児童・生徒が取り組んだ「私たちの主張」作文コンクールでは116点の応募があり、優秀賞6点、優良賞6点の入賞者の表彰を行いました。

さらに、今年度から小学校1年生から応募できるようになった「家庭の日」ポスターコンクールでは256点の応募があり、優秀賞9点、優良賞9点の入賞者の表彰を行いました。表彰された皆様や作品を紹介します。(澁谷) (敬称略)

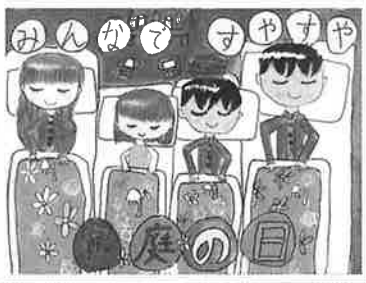


会長
澁谷 光章

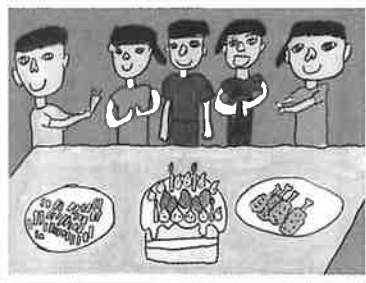
●個人の部
桶川サッカースポーツ少年団 五島 一則
桶川レッドサッカースポーツ少年団 上野 隆
桶川ヤンキースポーツ少年団 野中 剛

桶川カーディナルススポーツ少年団 山崎 達明
川田谷ヘアースポーツ少年団 北島 理行
I・K・O剛柔流桶川空手道会 河原塚 貴史
合気道桶川愛氣会 待鳥 峰喜
桶川市子ども会育成連絡協議会 新田 紀子
桶川市青少年相談員協議会 秋山 太一郎
桶川市人権擁護委員会 新井 洋子
桶川地区更生保護女性会 政輝 淑江
鴻巣地区保護司会桶川支部 伊東 昭子
●団体の部
川田谷小学校合宿通学実行委員会
日出谷小学校 学校応援団

優良賞作品



桶川東小学校 4年 本田 花音
「みんなで すやすや うれしいな」



桶川東小学校 2年 黒木 強太
「誕生日会」



桶川東小学校 5年 鈴木 蓮
「家族でサッカー観戦」



桶川小学校 2年 高澤 陽乃
「大すきな かぞく」



桶川西小学校 1年 岸 塔馬
「ぼくのピアノで うたってね」

優良賞

「家庭の日」ポスターコンクール入賞者



青少年育成功労賞、作文・ポスター

「私たちの主張」作文コンクール入賞者



優秀賞

平和への小さな一歩

桶川小学校 6年 栗原 健

多数でよかったでは終わらせない

朝日小学校 6年 二瓶 優月

ボランティア体験を通して

日出谷小学校 5年 生駒 亮太郎

児童労働について思うこと

桶川中学校 3年 川村 歩

「普通」という眼鏡を外して

加納中学校 3年 小屋敷 純可

無関心

桶川中学校 2年 高橋 光輝



講評



作文は、幅広いテーマに、毎年のことながら大変感心し、未来を切り拓いていこうとする心がけを頼もしく思います。入賞作品の作文に力を与えている要因は2つあります。1つ目は、出来事に心の引っ掛かりを感じる、豊かな感性を皆さんが持っているということです。2つ目は、体験したことや見聞きしたことをきっかけに、家族や友達と話し合ったり、本などで調べたりして、考えを深めることができたことです。次に、ポスターについてですが、どの作品も、明るさや爽やかさ、温かさの伝わる「色のまとまり」があります。作品の構成や視点なども工夫されています。作者だけが作り出せるポスターを見て、「家族と話し合おう・楽しみ合おう・協力し合おう」と、「家庭の日」を考えることができました。(閑野)



優良賞

ゲームのない夏休み

桶川東小学校 6年 小野 暉

原爆・基地・原発

加納小学校 4年 原沢 陽向

「だれかを支えてあげられる人」
になりたい

桶川東小学校 5年 中野 真里絵

今がんばっていること

加納中学校 2年 古市 美月

「二つのライフを大切に生きる」

桶川東中学校 1年 中村 紅玲

魔法の職業

桶川西中学校 1年 石田 晴輝

ポスターコンクール



桶川東中学校 2年 水野 寧々
「草むしり一家」



朝日小学校 5年 島 亜緒依
「家族みんなで遊ぶ楽しい時間」



「家族でみた花火」
桶川東中学校 3年 吉田 陽菜



「水族館へ Let's Go!」
桶川東中学校 2年 野田 紗永

青少年育成埼玉県民会議会長より表彰

11月19日(月)、知事公館において、青少年育成埼玉県民会議の表彰式が行われ、桶川市青少年健全育成市民会議の構成団体である桶川市青少年相談員協議会の中村梓さんが「青少年育成功労賞(個人)」を受賞しました。



平成30年10月6日(土)に開催した川田谷地区親子ふれあいウォークは、残暑残る快晴のもと、参加者155名という今までにない大人数で行われました。

午前9時に農業センターをスタートし、東光寺・熊野神社古墳・樋詰氷川神社・泉福寺・城山公園の順に約8kmの道のりを、それぞれスタンプラリーやクイズで楽しみました。途中の泉福寺では、オケちゃんとの写真撮影もしました。ゴールの後は豚汁がふるまわれ、とても美味しくいただきました。

また、加納地区親子ふれあいウォークが開催された10月20日(土)は、少し肌寒い朝でした。参加者54名が加納小学校をスタートし、坂田谷津谷遺跡公園・べに花ふるさと館・加納天神社・多気比売神社・後谷調整池の順に、こちらも約8



2018 親子ふれあいウォーク

kmの道のりを、スタンプラリーやクイズで楽しみました。途中、べに花ふるさと館ではオケちゃんとの写真撮影をし、後谷調整池では、縄文人が出現し、子ども達と踊ったり、プレゼントを渡したりしていました。参加者の疲れを忘れさせてくれるサプライズでした。

昨年度は、両地区とも雨天で中止だった親子ふれあいウォークは、今年度は両地区とも天候に恵まれ、気持ちの良い秋晴れでした。

桶川市子ども会育成連絡協議会の方々、加納小学校PTAの方々、青少年相談員、ジュニアリーダー、地域の皆様、ご協力ありがとうございました。

(対馬)



ひまわりのつばき

★「人は鏡 万象は我が師」と言うように、人の世はすべて自分の鏡だと思ふのです。子どもの前での喧嘩・悪い噂話等は、気をつけなくてはいけないと感じる今日この頃です。

(澁谷)

★「ありがとう」は日本語で感謝を表す時に用いられる。日々、感謝の気持ちを伝えられるように心掛けていきたいと思ひます。

(小高)

★私は色々な種を蒔いている。いつ咲くかわからない花の種を。どんな子に育つか、楽しみだ。

(西永)

★仕事仲間を初めて家に呼んだ時、子どもとのやり取りを見て言われた

(黒田)

編集後記

今回の「ひまわり」を編集するにあたり、かかわっていただいた皆様に心より感謝いたします。

息子の小学校入学で、地域を今まで以上に身近に感じ、より子ども達の安全について考えるようになってきました。

犯罪の複雑さが増す中で、昨年は国内で地震や台風の影響での災害が多く、不測の事態が起こったときの子どもの安全に対する

こと。「親の顔になつていく」と。仕事上の顔とは何かが違うらしい。子どもに、親にさせてもらっているのかな、と思つたのでした。(対馬)

★本当の幸せは、お金には変えられない心の豊かさだと感じます。支えていただいている全ての方に感謝し、明るい心・笑顔を大切に過ごしていきたいです。

(甘浦)

★一つの事を深くやり遂げる生き方、色々な事を浅くやりこなす生き方。その子に合った道を考えながら一歩一歩、楽しみながら進んでいきたいな。

(金子)

★初めて編集に参加をさせていただきました。和やかな雰囲気の中、地域や学校の事をたくさん学ぶ事ができ、大変楽しく有益な経験でした。

対応や心のケアなど、健全な成長を周囲の大人達が見守っていかなくてはならないと、改めて考えさせられました。

この「ひまわり」に掲載されているように、子ども達は日々学び、考え、色々な経験をしながら、元気に毎日を過ごしています。桶川市青少年健全育成市民会議では、子ども達の健やかな笑顔を、皆様と見守り続けたいと思っております。

最後までお読みくださり、ありがとうございました。

(黒田)